
シン君の自由研究

徳山 ノガタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シン君の自由研究

【Zコード】

Z5652E

【作者名】

徳山 ノガタ

【あらすじ】

小学生のシン君。夏休みの自由研究をしようとするシン君の周りには、「忙しい」人たちがたくさんいて……。皮肉たっぷりの短編コメディー。

シン君は朝「はん」を食べたあと、学校の宿題をする「じ」とこしあつた。

「夏休みに自由研究をやつてきてくれだせー」

先生がそう言つてるので、シン君は自由研究をする「じ」とに決めました。

「何をけんせうーしょりつかな」

少し考えて、シン君はお父さんに聞いてみる「じ」としました。お父さんは書類でお仕事をしてこます。

「お父さん、あゅうとこ?」

「今、忙しいんだ」

お父さんは真剣な顔でコンピューターと向き合つています。コンピューターの画面には、シン君にはわからぬ難しい文字がたくさん並んでこます。

「どうして忙しこの?」

「お仕事をしてこらねからだよ」

「どうしてお休みなの?お仕事をするの?」

「家族を幸せにできるためだよ」

お父さんは、ため息をつきました。

「仕事が忙しくて、家族と遊ぶ時間がない」

シン君は書斎を出て行きました。

今度はお姉ちゃんに聞いてみることにしました。お姉ちゃんは洗面所でお化粧をしています。

「お姉ちゃん、ちょっとこい？」

「今、忙しいの」

お姉ちゃんは鏡に向かって、口紅を塗つたり香水の瓶を開けたりしています。シン君にはよくわからない、色んなお化粧の瓶を開けたり閉めたりしています。

「どうして忙しいの？」

「お化粧をしてこなからよ」

「どうしておなじみがあるの？」

「カレとのトークを楽しむためよ」

お姉ちゃんは、ため息をつきました。

「お化粧するのが忙しくて、カレジデーターする時間が短くなっちゃうわ」

シン君は洗面所を出て行きました。

今度はお外に出でることにしました。道路を歩いていると、人々の中で、選挙のために演説をしている人がいました。シン君はその人に聞いてみようと思いましたが、秘書の人に止められました。

「すいません、ちょっとといいでですか？」

「先生は今、とっても忙しいんですね」

先生、と呼ばれた人は、一生懸命マイクを握って話しています。シン君には難しくてよくわからない言葉がたくさん出できます。

「どうして忙しいの？」

「選挙演説をしているからです」

「どうしてえんぜつをするの？」

「選挙に勝つて、政治をもっとよくしたいからです」

秘書の人は、ため息をつきました。

「選挙に勝つのが忙しくて、この政策を考える時間があつません」

シン君は人じみから離れて行きました。

公園に向かって歩いていると、道の向い側からクラスメートのアイちゃんがやってきました。

「おはよう、アイちゃん。ちよつとこ？」

「おはよう、シン君。今、忙しこの」

アイちゃんは手提げバッグを持っています。バッグの中にはノートや筆箱などといった、お勉強の道具がたくさん入っていました。

「どうして忙しこの？」

「塾に行かなきゃいけないからよ」

「どうして塾へ行くの？」

「学校のテストでここ点取るためよ」

アイちゃんは、ため息をつきました。

「塾の勉強が忙しくて、学校の宿題をしてこむ時間がないわ

アイちゃんはそれと行ってしまいました。

「なんだかみんな、忙しいんだなあ」

シン君は立ち止まって考えました。

「立派な大人にならうと思つたら、何かに忙しくならなきゃいけないのかあ？」

すると……。

「お～い、シンくん！」

幼馴染のケンジ君が走つてやつてきました。手にはサッカーボールを持っています。

「公園でサッカーやるつよー。」

シン君は少し考えて答えました。

「今、忙しいの。宿題をするのに忙しくて、宿題をするのは、早く宿題を終わらせて遊ぶためなの」

そして、ため息をつきました。

「宿題が忙しくて遊ぶ時間がないや」

「何を言つて遊ぶのかわかんないよ。早く遊ぼ」

シン君は忙しくなるのをやめました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5652e/>

シン君の自由研究

2010年10月28日08時38分発行